

講義名	オフキャンパスプログラムⅠ		
科目区分	キャリア科目		
担当教員	小幡 祐可子／前川 明／中山 一郎		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			

主題と概要 オフキャンパスプログラムⅠは、職業人や企業人への「キャリアインタビュー」をとおして、「なりたい私」を考えていきます。「キャリアインタビュー」を行う企業やインタビューイ（インタビューを受けてくれる人物）は大学でセッティングをしますが、その後は自分たちでアポイント（予約や連絡）を取り、自分たちで質問内容を考え、自分たちだけでインタビューを行い、最終的にはその成果をパワーポイントで作成し、授業の最終日に受講生全員の前でプレゼンテーションを行います。

到達目標 「キャリアインタビュー」をとおして、働くという行為に対するイメージや思い込み、抱えている不安や問題に向き合っており、それらを「斜めの関係ともいえる働く大人」に直接聞くことにより、これまでの自分にはなかった価値観を広げたり、新しい知恵や視点を手に入れたり、自分のなかでは当たり前だと思っていた労働観や職業観をもういちど柔軟に考えてみることでできる自分を育てていきます。
--

提出課題 ①リアクションペーパー ②企業研究シート ③プレゼンテーション用に作成したパワーポイント

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 毎回の授業で提出するミニレポートについてはリッカード（Respon）もしくはリアクションペーパーを使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。
--

評価の基準 ①キャリアインタビュー実習日をのぞく「事前授業」および「事後授業」の出席や提出物の評価 60点 ②「キャリアインタビュー実習」と「成果報告会」への出席と評価 40点 ※ ただし、「キャリアインタビュー実習」と「報告会」に出席しなかった学生は、①で60点に達していても不可とします。
--

履修にあたっての注意・助言他 オフキャンパスプログラムⅠは、企業および企業で働く人たちの協働による学修です。そのために、企業や企業で働く人たちの立場に立って行動することが前提となります。社会常識やビジネスマナーを身につけるように心がけてください。 具体的には、 ①授業の受講時には定められたルールは厳守すること（遅刻、私語、居眠り、途中退席等は厳禁） ②「キャリアインタビュー」本番日を含めて4日間の授業にはすべて受講すること ③プレゼンテーション資料やレポートは、決められた期限までに必ず準備・提出すること ※ 尚、キャリアインタビュー本番での態度が著しく悪い者、事前授業や事後授業の受講姿勢の良くない者、欠席が多い者は単位を認めない

教科書 ・使用しない。

プリント資料及び参考文献 プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介します。
--

授業計画 <1日目 担当：中山一郎> 1. プロローグ～キャリアインタビューって何？～ 2. インタビューグループの構成とチームビルディング（メンバーシップの構築） 3. インタビューイたちが所属する組織を知る（会社とは何だろう） <2日目 担当：前川明> 4. インタビュー企業の発表・決定とインタビュー企業について調べる（企業研究の方法） 5. インタビュー術の基礎（質問内容の確認と検討） 6. インタビュー術の応用（聴く・問う・話すの技法とスキル） <3日目 担当：小幡祐可子> 7. インタビューに向けての規律訓練（ビジネスマインドとビジネスマナーを修得） 8. インタビューに向けての実践訓練（ロールプレイングで模擬インタビューを体験） 9. インタビューに向けての最終確認（本番当日の流れとプレゼンテーションの準備） <4日目> 10. キャリアインタビュー実習 11. キャリアインタビュー実習 12. キャリアインタビュー実習 <5日目 担当：中山一郎・前川明・小幡祐可子> 13. キャリアインタビュー報告会Ⅰ（プレゼンテーション） 14. キャリアインタビュー報告会Ⅱ（プレゼンテーション） 15. エピローグ～キャリアインタビューを終えて～ * 受講者の人数や状況に応じて講義内容やスケジュールや内容は変更される可能性があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング） ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 メディア（インターネット、テレビ、新聞、本、雑誌）などで取り上げられた「人物へのインタビュー記事や本やニュース」などがあれば、毎日1時間程度はチェックしてください。 また身近な人でも構いません。まずは「人」に興味や関心をもってください。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用 実務経験あり この科目を担当する3名の教員はキャリア教育の専門家として、本学学生だけでなく、他大学も含めた多くの大学生の就職支援、キャリア教育に従事し、その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを事例を交えて解説を行う。

備考 キャリアインタビュー先である企業への移動交通費はすべて自己負担となります。
--